

高等学校学習指導要領解説数学編第 1 章第 2 節 (2) 高等学校における数学教育の意義 (p.9) から

1 以下の文章の空白を埋めよ。

高等学校における数学教育においては、数学的な () や技能の「量」だけでなく、どのようにしてそれらの知識や () を身に付けたのかなど学習の「質」を問う必要がある。それは、様々な場面で身に付けた知識や技能を () しようとするとき、それらを身に付けたときの学習の「()」が影響するからである。高等学校数学科では、数学の学習を単に知識や技能などの () の習得にとどめるのではなく、数学的活動を重視して () 性の基礎を養い、すべての高校生の () 形成に資する数学教育を意図している。ところで、現代では多くの問題が () 的に整理されコンピュータの活用によって解決されており、各分野で数学の果たす役割は極めて大きくなっている。そのため、数学教育で () などを積極的に活用することも重要である。これまで、学校数学の問題は解答の便宜のため () な数で解答できるように工夫されたものが多かった。しかし、コンピュータなどが活用できるようになった現在では、高等学校数学においてもより () の世界を反映した問題を取り扱い、() や社会との関連を重視した学習が可能となってきた。そのような学習は、数学の学習に対する関心や意欲が高くない生徒にも数学を学習する () を認識させ、意欲を高め数学的な力を伸ばすことにもつながると考えられる。

2 内容から解答を導くポイントと考えたことを述べよ。

3 この問題の解答を自己評価し、
気づいたこと、感じたことを述べよ。

■ 5 段階自己評価 ()

■